

子ども自然教室

haboro weekend circle



その2

活動データ

第3回

メニュー：焼尻島キャンプ

日程：7月21日(土)～22日(日)

場所：焼尻白浜キャンプ場

参加：31人(4年生～6年生)



フェリーに乗り込み、 焼尻島に出発！

第3回目の教室となった今回のメニューは、焼尻島でのキャンプ。年間11回の教室を予定している中で唯一宿泊を伴うメニューで、1泊2日の日程で開催されました。

初日は午前8時にフェリーターミナル集合、フェリー乗船やキャンプに関する注意事項の説明を受けた後、着替えやおやつが入ったバックと寝袋を抱え、フェリーに乗り込みました。船上では船酔いを心配する子ども達もいましたが、これから楽しいキャンプが始まるとあって、全員元気に約1時間のクルージングを楽し

みました。焼尻到着時には少し雨に当たったものの、いよいよ焼尻での活動開始です。

焼尻港からキャンプ場までは、オンコ原生林を散策しながらの移動です。森で作られたトンネルをぬけ、放牧しているめん羊を眺めながら進むと、間近に天売島も見渡すことのできる白浜キャンプ場に到着しました。ここでは真つ先に海遊び。すぐ隣の白浜海水浴場で持参したお弁当を食べながら、カニ捕りなどを楽しみ、その後はキャンプ場へ戻ってテント設営と夕食の準備です。今夜のメニューはもちろんカレーライス。3つの班に分かれた子ども達がお米とぎや材料切りから始め、先生に手伝ってもらいながらも自分達で作



3種類のカレーができました。

作り方を見てみると、肉から炒める班と野菜から炒める班とがあり、それぞれ「自分の家の作り方」らしく、そんなことを知っている男子小学生に感心してしまいました。お味の方は、3つとも違う味でしたが、3つともおいしいカレーでした。

食事の後は片付けを済ませてキャンプファイヤーと花火を行い、打上げ花火が日の沈んだキャンプ場を明るく照らしていました。花火が終了すると、初日の日程は全て終了です。歯みがきやトイレなどの就寝準備をして午後10時消灯しました。

2日目は午前6時30分起床。その前から起きている子もいて、いつもこんなに早く起きるのかたずねると、「お腹がすいて目が覚めた」とのこと。全員で朝食の冷やしうどんを作り、食事後はテントの撤収と帰宅準備。最後にごみ拾いをして港までは歩いて移動。港ではフェリー出航までの自由時間にお土産を買ったりしました。

午前11時10分、子ども達を乗せたフェリーはお世話になった焼尻を出発し、羽幌へと向かいました。

夏休みを前に、早くも夏の思い出をひとつ作った子ども達でした。



(右)羽幌港出航直前の一枚。これからフェリーに乗り込み、一泊二日の旅が始まります。
(中)料理だって自分達でやっちゃいます。鍋さばきもお手のもの。左手には予備の薪？
(左)出来上がった夕食のカレーライス。人参もしっかり入って彩りもきれいでした。もちろん味だっておいしかったですよ。



海水浴場で海遊び。カニや小魚など海の生き物を観察です。羽幌ではなかなか見られない大きなヤドカリにおどろきの声も。

自然教室メモ

〜ザリガニ〜

最近ではあまり見る機会がなくなったザリガニですが、ひと昔前(もっと前?)には小川や沢によく捕りに行ったものです。そんなザリガニを今回の活動場所となった、焼尻白浜キャンプ場横の沢で見つけました。

「焼尻でザリガニー」と、ちょっと驚きましたが、本来ザリガニというのは水温20度以下の冷たくきれいな水がある所に生息するらしいので、そう考えると妙に納得し、改めてきれいな自然が残されていることを実感しました。

子ども達の中にはザリガニを初めて見る子もいて、自然とのふれあいに目を丸くしていました。



キャンプ場横手の沢で捕まえたザリガニ。写真ではちょっと見づらいですが、ハサミもあります。